

平成30年度 ワカメ養殖情報第3号 (平成30年11月22日)

- 15℃以下の水温帯は、道東沖に広く分布しており、鮫角沖から閉伊埼沖の10～20海里（19～37km）に接近しています（図1）。
- 本県沖合水深0mにおける栄養塩濃度は前年同時期よりも低め（約2 μg/L）であり（図2）、また県南部湾内定点水深0mの栄養塩濃度も前年同時期よりも低めとなっています（11/14）。
- 12月における栄養塩が20 μg/L以上となる確率は、黒埼沖、トドヶ埼沖及び樺島沖では100%と、尾埼沖では中旬から67%と予想されています（図3）。
- 栄養塩や水温の動きに注意し、巻き込み作業の準備を進めて下さい。

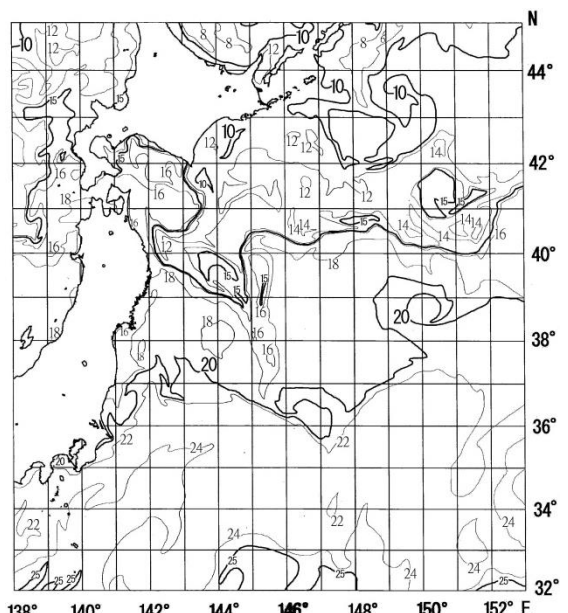
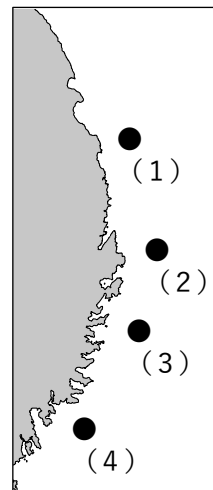


図1 本県沖合における表面水温分布 (11/18～19)



図2 本県沖合における栄養塩の表面分布 (μg/L)



(1) 黒埼 2018年12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
						100%
2	3	4	5	6	7	8
100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
9	10	11	12	13	14	15
100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
16	17	18	19	20	21	22
100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
23	24	25				
100%	100%	100%				

(2) トドヶ埼 2018年12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
						100%
2	3	4	5	6	7	8
100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
9	10	11	12	13	14	15
100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
16	17	18	19	20		
100%	100%	100%	100%	100%		

(3) 尾埼 2018年12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
						38%
2	3	4	5	6	7	8
43%	48%	48%	52%	57%	57%	62%
9	10	11	12	13	14	15
62%	62%	67%	67%	67%	67%	67%
16	17	18	19			
67%	67%	67%	67%			

(4) 樺島 2018年12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
						100%
2	3	4	5	6	7	8
100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
9	10	11	12	13	14	15
100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
16	17	18	19			
100%	100%	100%	100%			

図3 10マイル定点の栄養塩が20 μg/L以上となる確率 (予測結果)

※ 漁業指導調査船「岩手丸」の海洋観測資料による解析 (各10海里定点) 国土地理院の基盤地図情報を使用

※湾内自動水温観測装置(定地)水温観測システムの設置、水温及び栄養塩供給予測のためのソフトウェア開発は、農林水産省 農林水産技術会議による「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による成果です。沖合栄養塩の分析は「環境省 平成30年度地域適応コンソーシアム北海道・東北地域事業委託業務」における「海水温の上昇等によるホタテガイ及びワカメ等の内湾養殖業への影響調査」の一環で実施しています。なお、定地水温の値は、午前10時の水温を採用しています。